



盛岡AI・IoT プラットフォーム事業

岩手県 盛岡市 商工労働部 ものづくり推進課



岩手県盛岡市

「2023年に行くべき52カ所」世界第2位

※ニューヨーク・タイムズ紙（電子版）

- ・中心市街地に歴史歴な建物と川や公園などの自然が多い
- ・街を歩いて楽しめる
- ・コーヒー店、わんこそばほか、ジャズ喫茶などの文化が根付く街



住みよさランキング 第1位

（北海道・東北ブロック）※東洋経済『都市データパック』住みよさランキング2020

- ・仙台市に次ぐ都市機能
- ・第3次産業の就業人口も多いが、農産品の産出額も多い
- ・「人口当たり大規模小売店店舗面積」の偏差値が60超え





岩手県盛岡市

首都圏からの良好なアクセス

- ・新幹線（はやぶさ）：東京～3 駅（2 時間10分）
- ・飛行機：札幌、名古屋、大阪、福岡
大阪から飛行機・車（2 時間 5 分）



東北第 2 位の都市機能

- ・東北第 2 位のIT産業集積
- ・情報通信、医療、金融等の集積
- ・伝統、文化、教育の蓄積
- ・高度人材の輩出

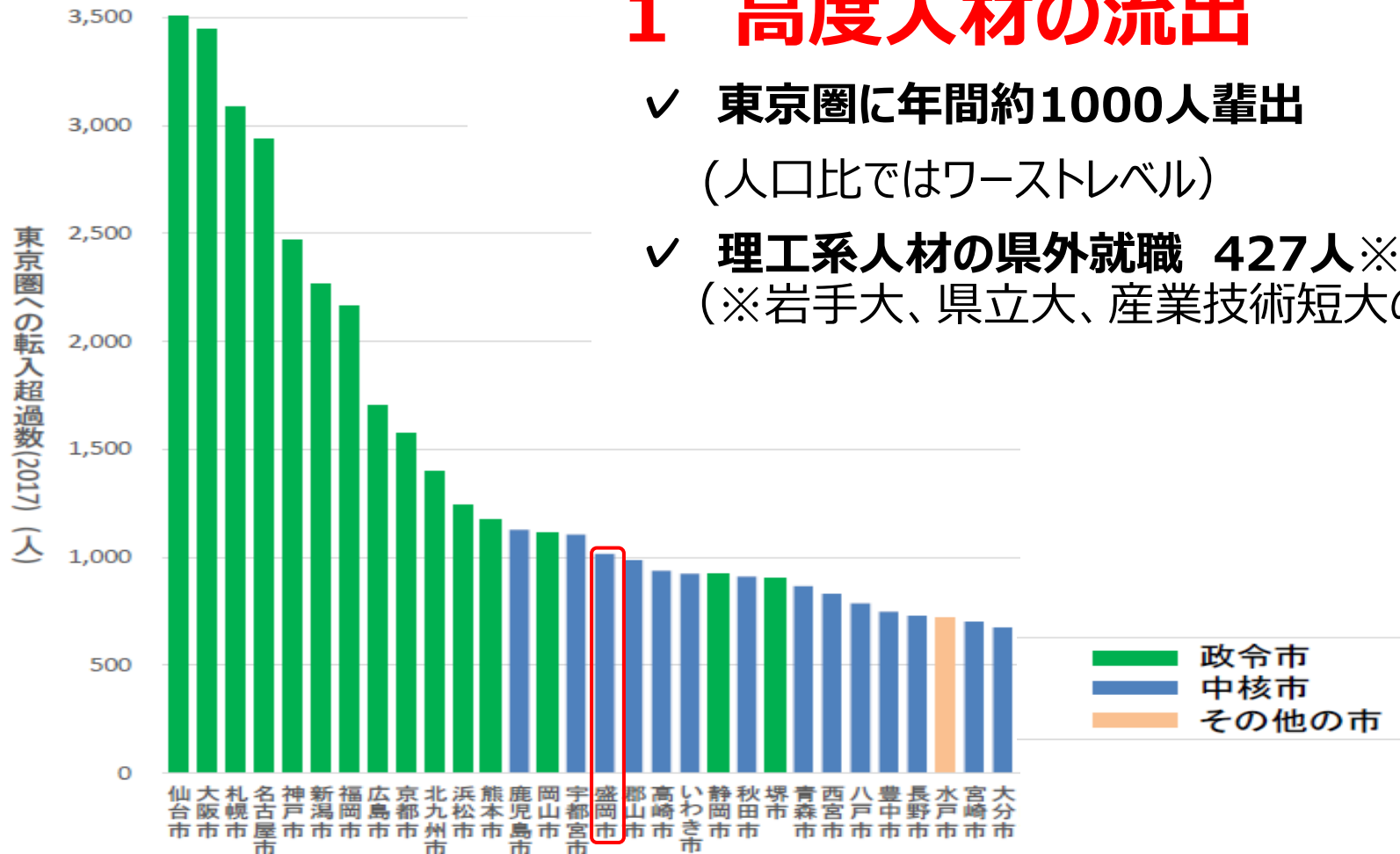




盛岡市の現状

1 高度人材の流出

- ✓ 東京圏に年間約1000人輩出
(人口比ではワーストレベル)
- ✓ 理工系人材の県外就職 427人※
(※岩手大、県立大、産業技術短大の理工系)



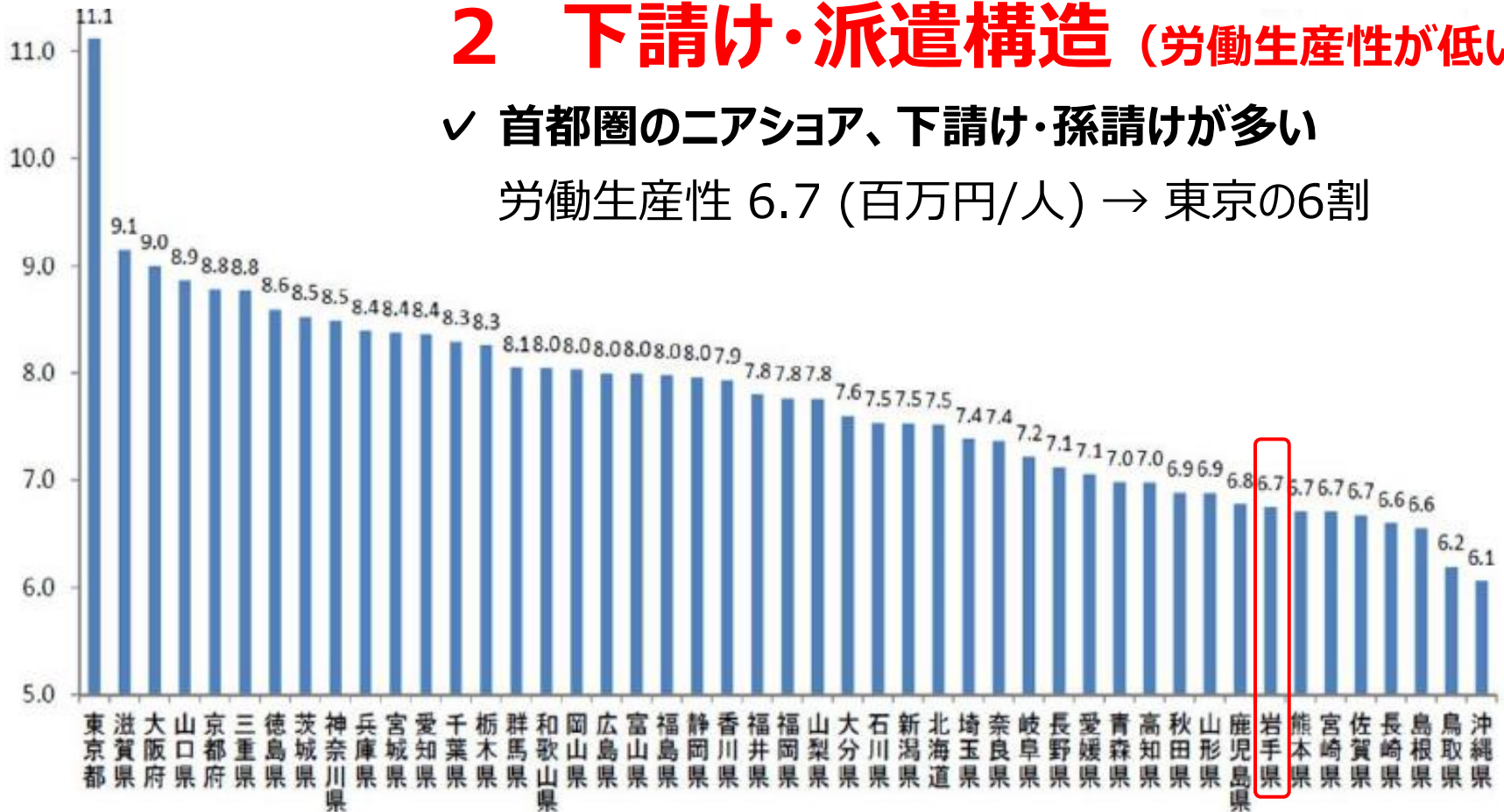


盛岡市の現状

2 下請け・派遣構造（労働生産性が低い）

✓ 首都圏のニアショア、下請け・孫請けが多い

労働生産性 6.7 (百万円/人) → 東京の6割



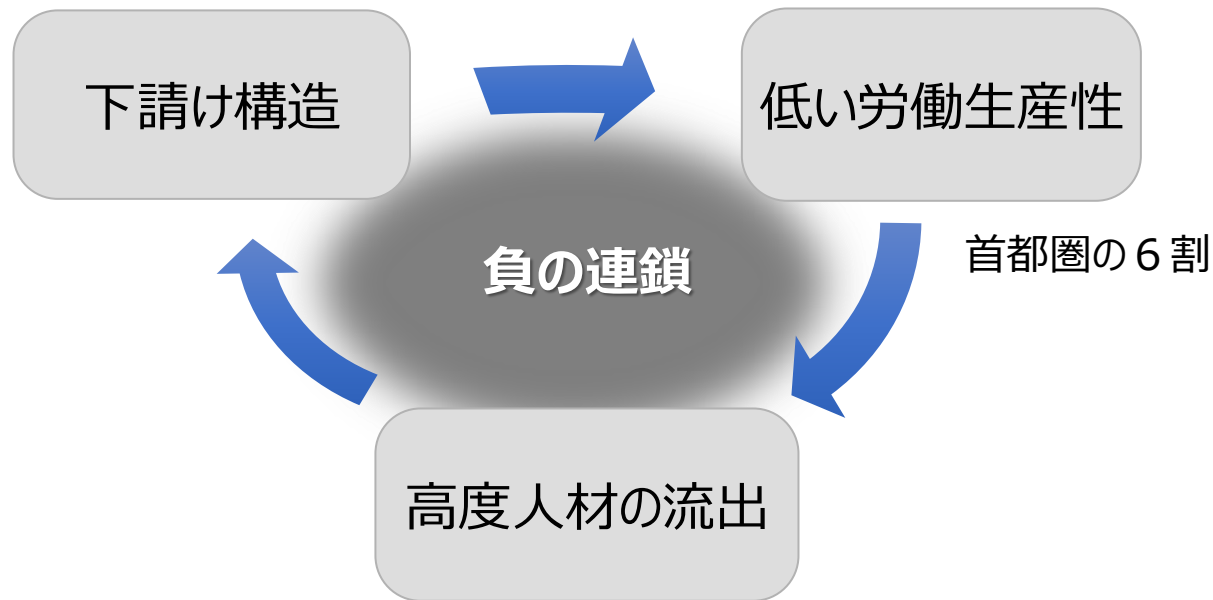


盛岡市の課題

魅力ある産業の育成

- ✓ 産業の高度化・高付加価値化
- ✓ 世界を目指した取組

高度人材が魅力を感じる産業を育成し、地元定着を図る



約7割(360名程度/年)が県外就職



盛岡市の I T 産業振興施策

盛岡AI・IoTプラットフォーム事業

盛岡地域の産業
の構造的課題

下請け構造

低い労働生産性

高度人材の流出

北東北の人口減少
の防波堤を構築

スタートアップ拠点の形成
(高度人材が魅力を感じる高付加価値の雇用の場の創出)

盛岡AI・IoTプラットフォーム事業 (未来技術にチャレンジする場)

盛岡地域AI・IoT情報共有

- ・セミナー開催 (年2回)
8月、11月開催
- ・月1回の学習会
デジタル技術活用勉強会
- ・ホームページでの情報発信
「盛岡 I T・MONOづくり」の
ホームページ活用



実証実験補助

- ・実証実験費用の5分の4補助
(上限100万円)
- ・公募型プロポーザルにて実験選定



I T 高度人材育成・スタート アップ支援

- ・スタートアップ意識醸成
アリーステージの優良なAIスタート
アップ企業を表彰するコンテストへの
岩手大学・岩手県立大学生の参加
支援
- ・DX人材育成
「盛岡デジタルトラン
スフォーメーション塾
(デジジュク)」を開催。
金曜 9:30-17:00の
全7回。プログラミング
Python、RPAを学ぶ



サテライトオフィス誘致

- ・情報発信
地方進出検討企業と市のマッチン
グイベントに参加し情報発信
- ・企業版ふるさと納税の募集
サテライトオフィス誘致のみならず、
企業版ふるさと納税も募集

[illegible]

A large group of students and staff members are posed for a group photo on a stage. They are dressed in formal attire, including suits and dresses. Many of the students are holding certificates or awards. In the background, a large screen displays the text 'd Dejicon! 2022' and 'Final Judging' in English and Japanese. Above the screen, a banner reads '岩手県立大学学生デジタルアイデアコンテスト デジコン! 2022 最終審査会'. The students are arranged in several rows, with some standing in the front and others behind them. The overall atmosphere is formal and celebratory.





実証実験事業補助

盛岡市デジタル技術実証実験事業補助金

✓ 市内情報サービス業、製造業等を対象

(上限：100万円、補助率：4／5)

✓ デジタル技術の活用による産業の高度化、社会実装を支援

■実証実験事業一覧

1	R3年採択	ドローン×画像解析AI化による構造物点検の効率化
2	R3年採択	5G及びXRを活用した盛岡さんさ踊りの伝統文化継承事業実証実験
3	R4年採択	デジタルを活用したスマートストア事業
4	R4年採択	ITを活用した地域医薬連携モデル化事業
5	R4年採択	チャバタケdoors メタバース事業 (メタバースの教育事業活用)
6	R4年採択	自動運転EVで城跡を巡る「MorioKart」 走行デモ
7	R4年採択	通信およびIoT技術を用いたリモートメンテナンス活用による工場内生産工程の改善事業



自動運転EVで城跡を巡るもりおかカート走行デモ

デジタル技術を活用したスマートストア事業



スマートシティ関連事業

内閣府スマートシティ関連事業（未来技術社会実装事業）

✓ R4 内閣府未来技術社会実装事業に選定

現地支援責任者による規制緩和支援、関係省庁の支援施策紹介

✓ 事業推進主体となる協議会を設立（R4. 11）

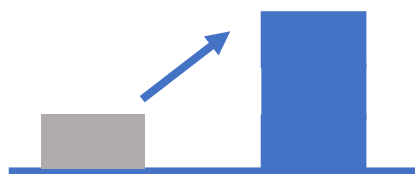
国、盛岡広域自治体、教育機関、民間事業者など約30団体が参画





盛岡市が掲げる目標

多様な主体との活発な産学官連携や企業間連携等の下、新たな価値を創造する企業が集積し、近未来技術による事業を世界に展開する、高度人材と企業を惹きつける都市。



(現状) 26,769百万円 → (2030年) 74,000百万円

1 IT産業の売上高 3 倍



(現状) 116社 → (2030年) 200社

2 IT産業の事業数 2 倍



(現状) 98人 → (2030年) 150人

3 高度IT人材の県内 就職者数50パーセント増



寄付企業のメリット

1 寄附実績のPR

- ・市のHP掲載、感謝状の贈呈

2 自社技術の用途開拓

- ・異業種間交流による新事業・新サービス創出
- ・産学官連携による新事業創出

3 豊富なIT人材の採用

岩手大学（理工学部）

- ・インキュベーション施設には、市職員が常駐
- ・ロボット、自動車、航空等の機械科学に強み

岩手県立大学（ソフトウェア情報学部）

- ・ビッグデータ、データサイエンティストの高度ICT人材に強み

岩手県立産業技術短期大学校

- ・メカトロニクス、電子技術、建築、産業デザイン、情報技術等各種産業技術に対応
- ・個性重視の少人数教育と充実した実験・実習による実践力に強み



お問い合わせ



MULTI MONO
MORIOKAとは

盛岡の魅力

トピックス

企業紹介

産業支援機関

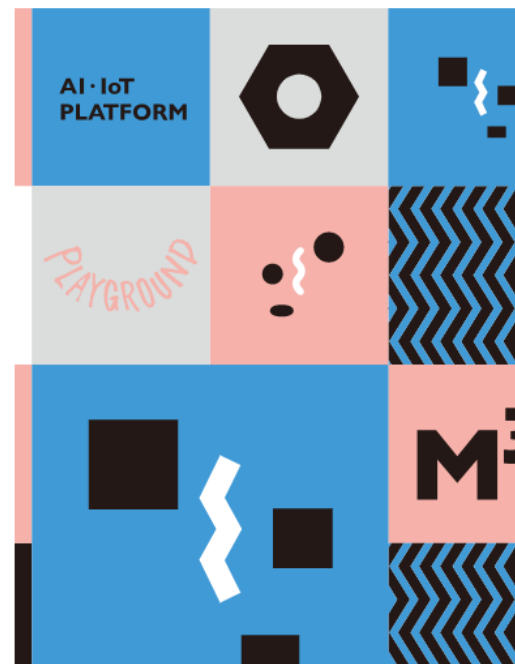


MULTI MONO MORIOKA

2021年にスタートした
盛岡のITとものづくり産業の
発展のために
全国から企業が参画し
未来技術にチャレンジする
プラットフォームです。

IoT・AI・xR・5G…等々の
新しい技術の活用により
盛岡エリアの産業発展を促進します。

MULTI MONO MORIOKAとは



＼HPもぜひご覧ください。／



<https://morioka-area-technology.jp/>

岩手県 盛岡市 商工労働部 ものづくり推進課
工業振興係 上森、外久保
☎ 019-626-7538
✉ monozukuri@city.morioka.iwate.jp